

中妻自主防災会 地区防災計画

《 第 2 版 》



2024年3月

中妻自主防災会

[地区防災計画とは]

地区防災計画とは、一定の地域にお住いの皆さまが、自分たちの地域の人命、財産を守るための助け合い（共助）について、自発的な防災活動計画を策定することです。

近年、気象災害・土砂災害等が多発しています。また、今後、発生が危惧されている首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模広域災害に備え、自助・共助の役割の重要性が高まっています。一方で、従来、地域防災力向上のために活躍していた、消防団、自主防災組織等は少子高齢化等、社会の変化に伴い活動が縮小している等の問題が発生しており、このような状況を踏まえ、地域コミュニティにおける共助による防災活動を強化する必要があります。平成 25 年の災害対策基本法では、自助及び共助に関する規定が追加されました。市町村内の一定の地区の居住者及び事業者が行う自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が新たに創設されました（平成 26 年 4 月 1 日施行）。地区防災計画は、行政の「地域防災計画」とは違い、市町村内の商店街や小学校区、複合ビルなどのコミュニティレベルでの住人や企業などによる自発的な防災活動について防災計画を策定します。防災というと自助・共助・公助といわれますが、その共助の部分膨らませていくための制度として位置づけられています。

表紙の写真は、2022 年 5 月 22 日に開催しました「ファミリーウォーク in 中妻」（防災設備さがし）において撮影したものです。

左上 中妻自警消防団 消防自動車	右上 鴨川中央公園 チェックポイント
左下 かえで公園 チェックポイント	右下 中妻記念会館前 ゴール受付

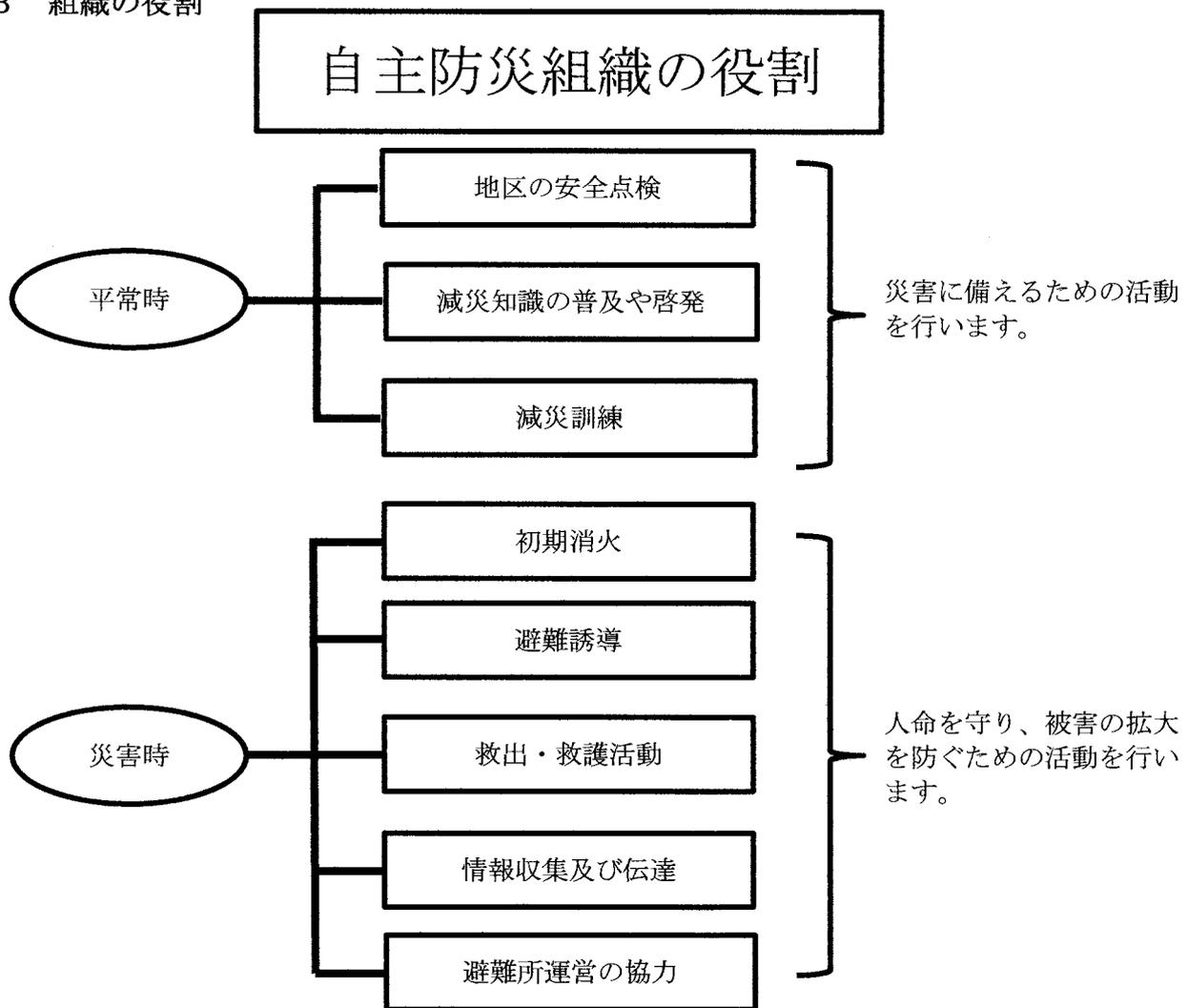
1 目的

本計画は、中妻自主防災会規則第2条に基づき、防災・減災活動について必要な事項を定め、地震・風水害・その他災害による被害の発生及びその拡大を防止及び軽減を図ることを目的とします。

2 基本方針

災害が発生した直後は、交通網の寸断・火災の同時多発などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そのようなとき、力を発揮するのが「地域の協力体制」です。「東日本大震災」の際、被災者の救出に当たって活躍したのは地域の住民等であり、災害時においては、「自助」、「近助」、「公助」とともに、地域における自主防災組織、ボランティア、企業などが、ともに支え助け合う「共助」が重要です。私たちの地区では、「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えで、地区のみんなで助け合いながら、生命と財産を守るために災害に強いまちづくりを進めます。この取組を計画的に推進するため、地区住民を主体とした自主防災組織を構築し、この行動の規範としての「中妻自主防災会地区防災計画」を定め、平常時から備えの充実を図るとともに、災害時における「自助」、「近助」、「共助」を着実に実行するため、この計画に基づく施策・事業などに取り組み、地区の防災・減災力を高めていきます。

3 組織の役割



4 計画対象地区と策定主体

(1) 計画対象地区

「中妻自主防災会地区防災計画」は次表の地区を対象として定めます。

丁名
中妻1丁目
中妻2丁目
中妻3丁目
中妻4丁目
中妻5丁目

※対象地区は、P.7～P.10のマップ参照。

(2) 計画策定主体

「中妻自主防災会地区防災計画」は下記の団体が定めます。

団体名称	会員数
中妻自主防災会	1,324戸

※会員数は2024年1月1日現在

5 地区の特性と予想される災害

(1) 地区の特性

西には鴨川が南北に流れ東には大宮台地があり、そこをJR高崎線が走る東高・西低の地形です。また、北には桶川市境、町内のほぼ中心には県道上尾環状線（BS通り）が通る南北にはほぼ平坦な地形です。

(2) 予想される災害

水害:鴨川の氾濫や決壊等による外水、または大雨による内水氾濫の危険があります。

地震:埼玉県地震被害調査（平成24～25年度）で最大の被害が予測されるのが、関東平野北西縁断層帯地震（マグニチュード8.1）です。この地震の予測震度分布図を参照すると中妻地区は、広い範囲で震度6強であり、地区内の建物倒壊や鉄道、道路、電気、水道などのインフラにも相当な被害が出ることが予測され、地区内には古い木造家屋もあることから相当数の人的被害も予測されます。また、北上尾駅利用者など、帰宅困難者などの受け入れ体制も整えなければなりません。

6 活動内容

(1) 平常時の取組

いざというときに地区の力が発揮できるよう、地区のみんなで協力して防災活動に取り組みます。

① 防災・減災知識の普及および啓発

防災・減災対策では、地区住民の一人ひとりが関心を持ち、日頃から備えることが重要であるため、地区住民への防災・減災知識の普及や啓発活動を行います。

② 地区の安全点検

防災・減災の基本は、自分たちの住むまちを知ることです。地区の危険な場所や問

題のある場所などを確認し、改善又は回避するための働きかけなどを行います。

③ 防災資機材の整備

防災資機材は、災害発生時に役立ちます。地区で防災資機材を整備し、日頃の点検や使い方を確認します。

④ 防災訓練

防災訓練はいざというときに慌てず冷静・的確に対応するための欠かせない活動です。地区住民に積極的な参加を呼びかけて、訓練を行います。

(2) 災害時の取組

災害時は、負傷者の発生や火災など様々な事態が発生する可能性があります。市役所や消防、警察等の公共機関（以下、「防災関係機関」という。）と連携しながら、地区住民で力を合わせて減災に向けた活動を行います。また、指定避難所運営等も積極的に取り組みます。避難所には、ケガをした人や持病を持っている人、女性、高齢者、外国籍、障がい者、LGBTQ+など、地域の企業・団体、観光客、帰宅困難者など様々な人たちが避難してきます。避難所の開設・運営にあたっては、個々人の多様性に寄り添うこと等の配慮・工夫も必要ですので、皆さんで協力します。

① 情報の収集・伝達

テレビやラジオ、防災関係機関などから正しい情報を収集し、災害情報等を地区住民に伝達します。また、地区の被災状況や火災発生状況などを取りまとめ、防災関係機関へ報告します。

② 救出・救助活動

まずは自助を心がけ、自分自身や家族が怪我をしないよう注意します。その後、互助として、地区住民で協力し、負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救助活動を行います。

③ 初期消火活動

消防車が到着するまでの間、火災の延焼拡大を防ぐための初期消火活動を行います。

④ 医療救護活動

医師の手当てが受けられるまでの間、負傷者の応急手当をして救護所へ搬送します。

⑤ 避難誘導

地区住民を安全な場所などへ誘導します。

⑥ 給食・給水活動

地区で必要な物資を把握し、公共機関とも連携しながら、必要に応じて炊き出しなどの給食・給水活動を行います。

(3) 要配慮者（避難行動要支援者）等への支援

災害時に大きな被害を受けやすいのは、高齢者や障害者、子ども、日本語のわからない外国人など、人の助けを必要とする人（要配慮者（避難行動要支援者））です。こうした要配慮者（避難行動要支援者）を災害から守るため、みんなで協力しながら支

援を行っていきます。この取り組みを着実に進めるため、個別計画を定めることが重要です。

- ① 要配慮者（避難行動要支援者）の身になって、防災環境の点検・改善を行う
目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか、避難経路等に障害物や危険な場所はないかなどを点検し、改善に努めます。
- ② 避難するときは、しっかり誘導する
隣近所の助け合いが重要です。一人の要配慮者（避難行動要支援者）に複数の避難支援者を決めておきます。
- ③ 困ったときこそ温かい気持ちで接する
非常時こそ、不安な状況に置かれている人にやさしく接する必要があります。困っている人や要配慮者（避難行動要支援者）には、思いやりの心を持って接します。
- ④ 日頃から積極的にコミュニケーションを図る
いざというときに円滑に支援ができるよう、日頃から積極的に要配慮者（避難行動要支援者）とのコミュニケーションを図ります。

7 地区の防災・減災対策

(1) 防災・減災体制

班編成 班名	平常時の役割	災害時の役割
総務班（本部）	全体調整 関係機関との事前調整	全体調整 関係機関との調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	啓発・広報	公共機関等からの情報収集・伝達
消火班	器具の整備・点検	消火器・バケツリレーなどによる初期消火
救出救護班	資機材・器具の整備・点検	負傷者の救出・応急手当・救護所等への搬送
避難誘導班	避難経路の点検	住民の避難誘導
給食給水班	器具の整備・点検	炊き出し等の給食・給水活動
福祉班	要配慮者（避難行動要支援者）の支援体制の整備	要配慮者（避難行動要支援者）への支援

(2) 指定避難所

種別	名称	住所	連絡先
学 校	大石北小学校 (指定避難所)	上尾市井戸木 4-23	048-775-4428
学 校	大石中学校 (指定避難所)	上尾市中妻 4-19	048-772-2660
学 校	県立上尾高校 (指定避難所)	上尾市浅間台 1-6-1	048-772-3322
学 校	朝日小学校 (桶川市指定避難所)	桶川市朝日 2-18-1	048-771-3775

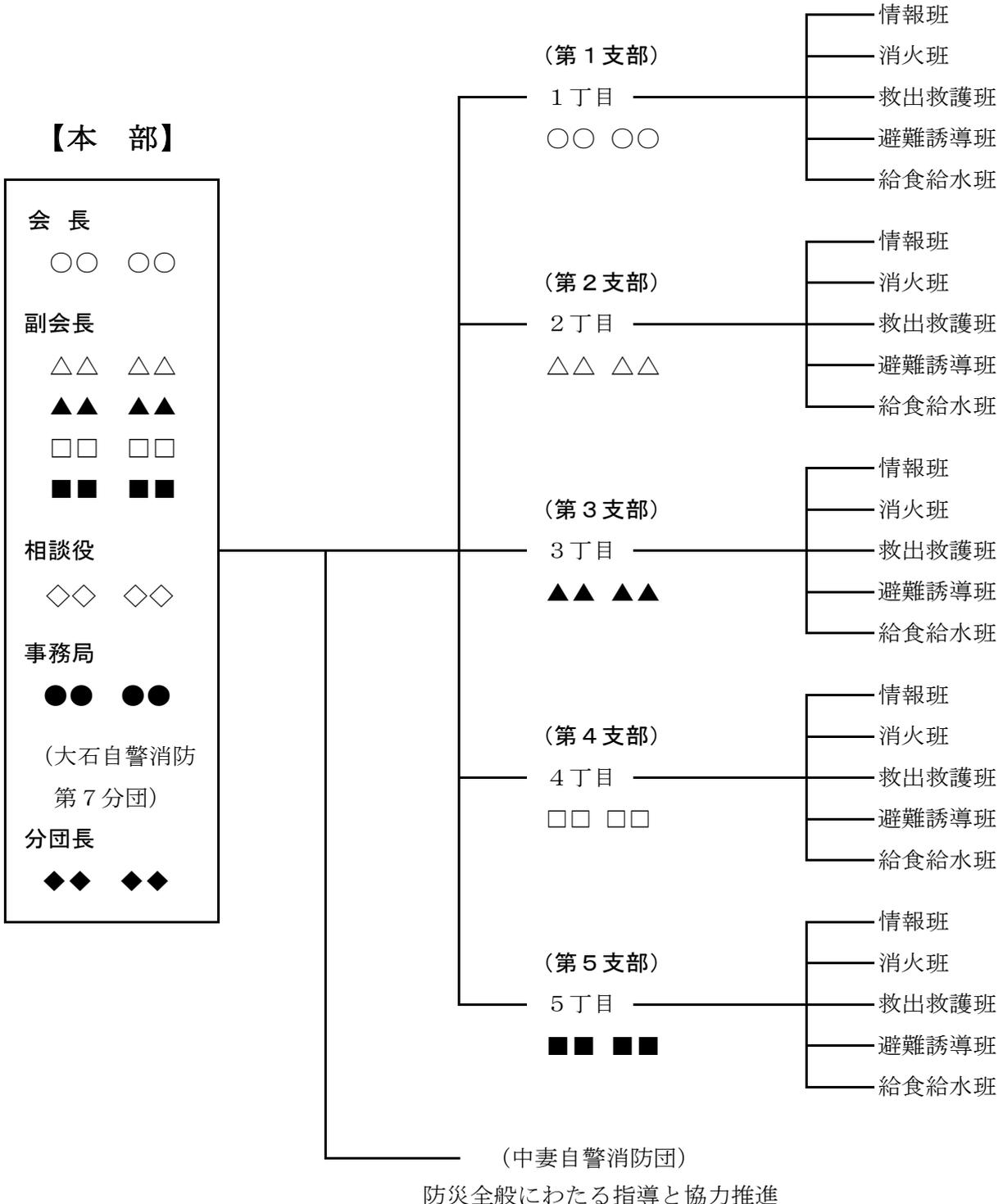
(3) 活動体制 [中妻自主防災会組織]

2024(令和6)年度 中妻自主防災会組織図

上尾市中妻地区 (2024年1月1日現在)	人口	5,528人
	世帯数	2,485世帯

自治会名称/中妻自治会
 防災組織名称/中妻自主防災会
 会長氏名・住所/〇〇 〇〇
 事務所/中妻記念会館

会員数 1,324戸 (2024年1月1日現在)
 上尾市中妻〇-〇-〇
 上尾市中妻3-15-5



(4) 保有資機材等一覧

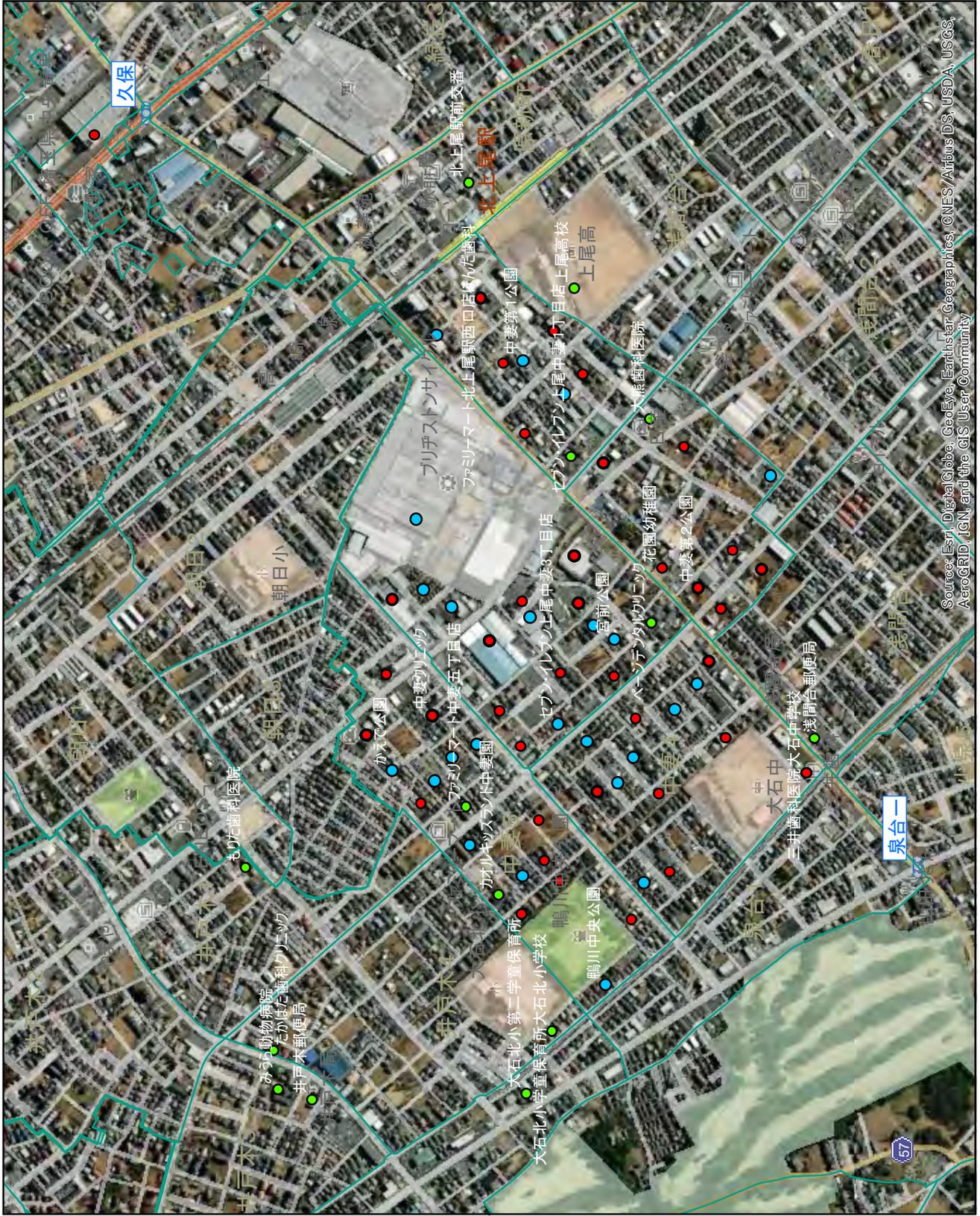
中妻自主防災会 備蓄品リスト

調査日:2024年2月12日

No.	備蓄品	公園防災倉庫			中妻記念会館		
		中妻第一	かえで	鴨川中央	会館内	防災倉庫	プレハブ
1	ブルーシート(5.4m×5.4m)	1	1	1			
2	ブルーシート(2.7m×3.6m)	1	1	1			
3	ロールマット(1m×2m×8mm)			10			
4	災害救助用毛布	20	7			90	
5	不織布毛布(災害備蓄用毛布)					70	
6	給水用ポリタンク(20ℓ)	1	1		3		
7	バケツ(5ℓ)	1	1		3		
8	ひしゃく	1	1		3		
9	LEDランタン	1	1		3		
10	マンホールトイレ(エペットさん)		1				
11	非常用トイレ便器(段ボール製)				2		
12	非常用トイレ便器(耐荷重150kg)	3	3				4
13	簡易トイレ(袋)50回分	3	3				4
14	非常用トイレ用テント	3	3				4
15	1人用テント(縦置き・横置き自由)					3	
16	養生シートロール(1m×50m)					2	
17	カセットガスコンロ				5		
18	カセットコンロ用ガスボンベ				20		
19	電気保温エアポット(2.2ℓ)				2		
20	台車						4
21	ヘルメット					14	
22	バール					3	
23	ワイヤーカッター					1	
24	油圧ジャッキ(限度5t)				1		
25	パンクレスリヤカー						1
26	ホームストックカー(整理ケース105ℓ)						1
27	ビスコ保存缶(30枚入)期限2027.08				25		
28	保存用ビスコ袋(15枚入)期限2028.03				60		
29	ワカメごはん(個食)期限2026.11				41		
30	きのこごはん(個食)期限2026.11				1		
31	非常用持ち出しセット (展示用)				1		
32	家具転倒防止ベルト (展示用)				1		
33	セーフティーロック (展示用)				1		
34	緊急用給水袋3ℓ (展示用)				1		

(5) 中妻地区防災マップ (航空写真)

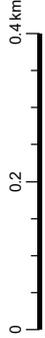
避難場所・防災器具庫(消火栓、防火水槽) 防災拠点(警察・病院・コンビニ等)



凡例

- 消火栓
- 防火水槽
- 防災拠点

1:10,000



Source: Esri, DigitalGlobe, GeoEye, Earthstar Geographics, CNES/Airbus DS, USDA, USGS, AeroGRID, IGN, and the GIS User Community

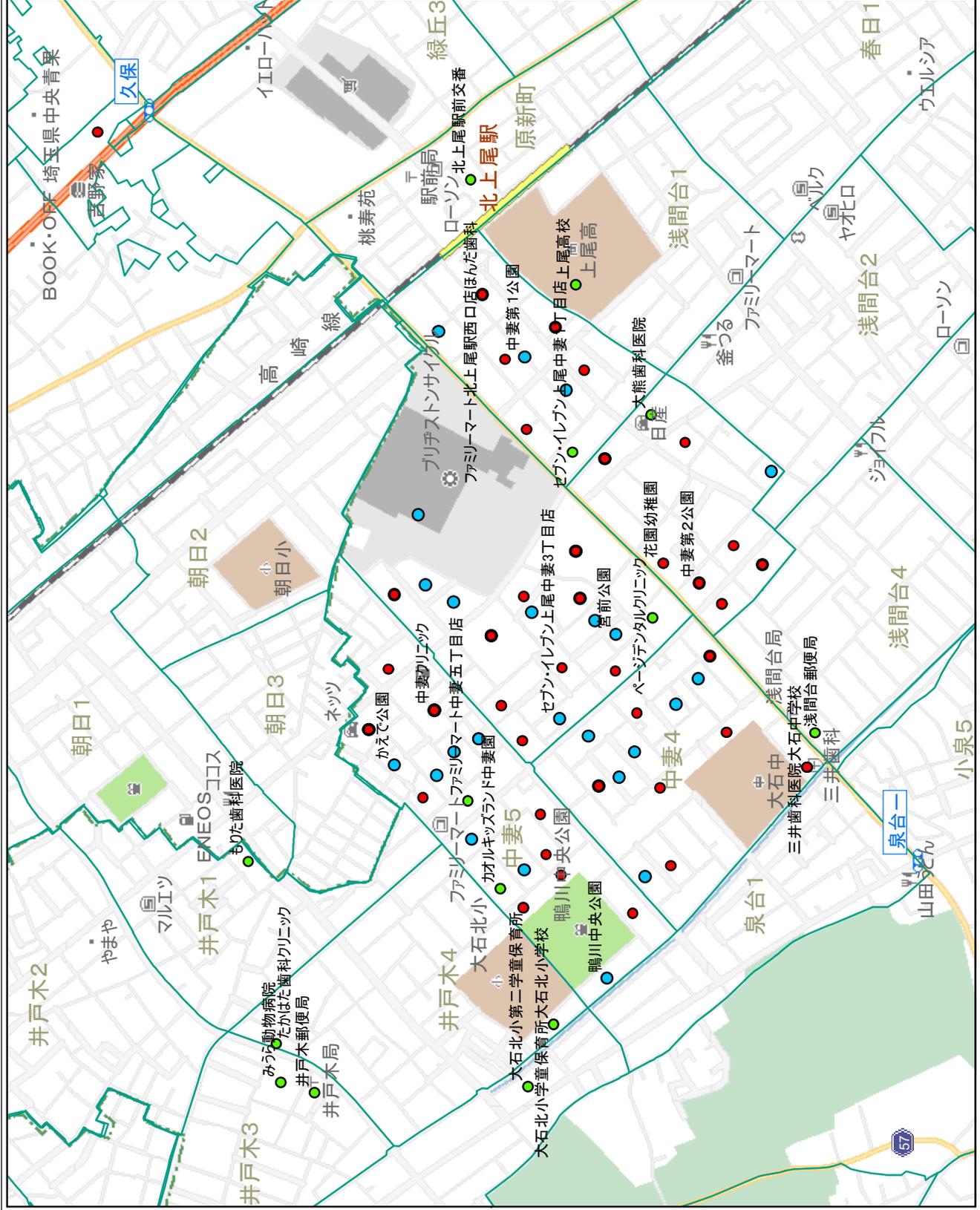
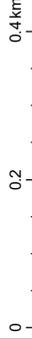
中妻地区防災マップ (白図)

避難場所・防災器具庫(消火栓、防火水槽) 防災拠点(警察・病院・コンビニ等)

凡例

- 消火栓
- 防火水槽
- 防災拠点

1:10,000



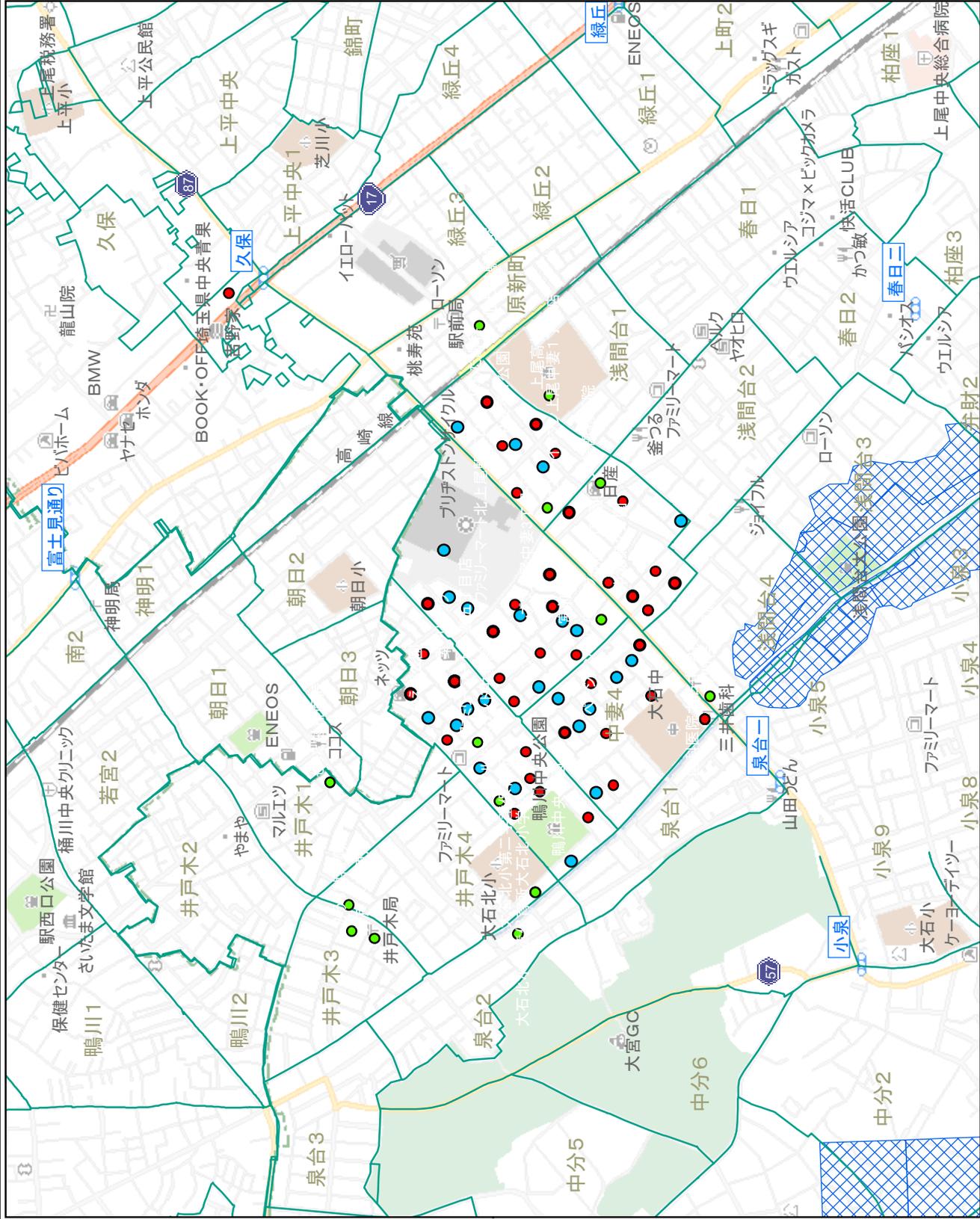
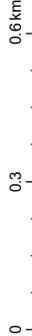
中妻地区防災マップ (浸水想定区域)

避難場所・防災器具庫 (消火栓、防火水槽) 防災拠点 (警察・病院・コンビニ等)

凡例

- 消火栓
- 防火水槽
- 防災拠点
- 浸水想定区域図

1:15,000



(6) 防災・減災訓練の実施

災害発生時に、地区住民が「地区防災計画」に沿って適切な行動ができるよう、市や消防署等とも連携しながら、次の訓練を中心とした地区防災訓練を毎年度実施します。

- ① 避難訓練（要配慮者（避難行動要支援者）の支援を含む）
- ② 情報収集・伝達訓練
- ③ 応急訓練
- ④ 給食・給水訓練
- ⑤ 啓発活動

訓練の実施後は、訓練結果を検証し次回訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直し、必要があれば「地区防災計画」の見直しを行います。

(7) 資機材、器具等の点検

活動体制の各班を中心に、資機材、器具等の点検を定期的実施します。

班 名	担 当 者	内 容	時 期
初期消火班	第1～第5支部	消火器具の点検（整備）	地区防災訓練前
救出救護班	第1～第5支部	防災資機材・救出用器具の点検（整備）	地区防災訓練前
避難誘導班	第1～第5支部	避難経路の点検（整備）	毎年（随時）
給食給水班	第1～第5支部	給食・給水器具の点検（整備）	地区防災訓練前

(8) 要配慮者（避難行動要支援者）への支援体制の整備

活動体制の福祉班を中心に、要配慮者（避難行動要支援者）の支援体制を整備します。

班 名	担 当 者	内 容	時期（目標）
福祉班	民生委員・児童委員	支援体制・方法の検討・整理	次年度まで
		対象者の把握（市から提供）	次年度まで
		個別計画の作成完了	次年度まで
		定期的な個別計画の見直し	毎年度

(9) 活動経歴

○2017年3月11日第1回DIG・5月28日第2回DIG・10月29日第3回DIG

○2018年4月22日第4回DIG「ウォッチング in 中妻」

○2019年2月17日第5回DIG「中妻地区防災マップ作成」・4月21日第6回DIG「ウォッチング in 中妻Ⅱ」

●2019年12月 中妻地区自主防災会 地区防災計画第1版 策定

- 2020年11月「防災アンケート」実施
- 2021年3月 防災をテーマに「ウォッチング IN 中妻」実施、参加者101人「中妻防災ニュース」発行
- 2022年5月 防災をテーマに第2弾「ファミリーウォーク IN 中妻」実施、参加者106人
- 2024年1月 中妻自主防災会 地区防災計画第2版 策定

8 中妻自主防災会規則

中妻自主防災会規則

(名称)

第1条 この会の名称は、中妻自主防災会（以下「本会」という。）とする。

(目的)

第2条 本会は、中妻地区住民の相互安全を基盤とした「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えにもとづき、自主的防災活動を行うことにより、地震等の災害（以下「災害」という。）による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

(事務所)

第3条 本会の事務所は中妻記念会館に置く。

(事業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 地区防災計画の作成と住民への普及
- (2) 災害防止、災害予防
- (3) 災害の発生時における情報の収集と伝達、初期消火、救出救護、避難誘導
- (4) 防火訓練及び関係器具の保守点検
- (5) 防災に必要な資材、器具の備蓄
- (6) その他、本会の目的達成に必要なこと

(会員)

第5条 本会は中妻地区に居住する世帯をもって構成する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|---------|-----|
| (1) 会長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |

- (3) 支部長（副会長兼務） 若干名
- (4) 相談役（防災専門家） 若干名
- (5) 事務局（担当幹事） 1名

- 2 役員の任期は2年間とし、4月1日より翌々年3月31日迄とする。
尚、補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 会長は自治会長とし、他の役員は会長が指名し、再任は妨げない。

（役員の仕事）

- 第7条 会長は、本会の総括責任者として代表し、会務を遂行し、災害等不測事態発生時における応急活動の指揮を行う。
- 2 副会長は、会長を補佐するとともに、会長不在時にはその職務を代行しなければならない。
 - 3 支部長は、各丁内のまとめを図り、伝達等班員との連携を行う。
 - 4 相談役は、防災の専門家として本会の事業について指導又は助言を行う。
 - 5 事務局は、会長の指示にもとづき、本会の業務を処理する。

（役員会）

- 第8条 役員会は、原則として毎月1回開催、また会長が必要と認めたときは臨時に行う。議長は会長が務める。

（改廃）

- 第9条 この規則の改廃は、役員会で決定し、班長会へ報告する。

（附則）

- 第10条 本規則は、平成5年8月4日より施行する。
本規則は、平成30年3月7日に改正、同日施行する。
本規則は、2020（令和2）年4月18日改正、同日施行する。

9 中妻防災アンケート調査報告書より

日頃より自治会活動にご協力いただきお礼申し上げます。
東日本大震災から、熊本地震、集中豪雨による水害などがあり、また、新型コロナ感染症も踏まえた自主防災組織のあり方が問われる状況にあります。今後は、もっと大きな災害がやって来るやもしれず、中妻自主防災会の役割も重要になってきます。次の災害が発生しても地域の住民の命と暮らしを守れる様な取り組みを進める事が大事と思っています。

今回のアンケートは、地域の皆さんの意識と現状を知り、今後の活動方針に役立てる事を目的としていました。このアンケート結果を参考に今後の対策に役立てたいと思います。つきましては、皆様にもアンケート結果をご覧ください、同じ地域に住む皆様の事を知る一助になればと思います。

2021年7月20日

中妻自主防災会会長 ○○ ○○

【中妻防災アンケート質問項目一覧】

問1	あなたのお住まいは何丁目ですか？
問2	あなたを含んだご家族の人数は？
問3	同居家族の中に「災害時要配慮者」の方はいますか？ また人数は何人ですか？
問4	大型台風や大地震の時、指定避難所に避難しますか？ また、避難する場合どこに避難しますか？
問5	「避難しない」と回答した方、広域避難・分散避難などの 避難先はどこですか？
問6	「避難」についてどのような情報で避難を開始しますか？
問7	避難先までの移動手段は？
問8	避難経路は決めていますか？
問9	避難準備はできていますか？
問10	感染症拡大防止のための備品等は備えていますか？
問11	ペットと一緒に避難しますか？
問12	自主防災会の活性化、地区防災力の向上、今後の望む企画について
【自由意見欄】	

中妻防災アンケート集計結果

実施時期：2020年12月

問1 あなたのお住まいは何丁目ですか？

項目	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	グラン	合計
回答数	124	48	108	258	293	46	877
配布数	179	75	166	386	446	71	1,323
回収率	69%	64%	65%	67%	66%	65%	66%
構成比	14%	5%	12%	29%	33%	5%	100%

(注) 「グラン」は高層集合住宅グランシェロ。構成比は回答数の構成比を示します。

問2 あなたを含んだ家族の人数は？

回答	1	2	3	4	5	グラン	合計	構成比
1人	10	4	5	13	24	6	62	7%
2人	45	13	44	96	109	18	325	37%
3人	32	10	24	78	74	9	227	26%
4人	25	11	28	53	64	11	192	22%
5人	7	6	4	13	11	2	43	5%
6人	4	2	3	3	8		20	2%
7人				1	1		2	0%
8人		1					1	0%
2世帯	1	1		1	2		5	1%

問3 同居家族の中に「災害要配慮者」の方はいますか？また人数は何人ですか？

回答		1	2	3	4	5	グラン	合計
いる		11	9	10	20	28	3	81
人数	1人	11	8	10	15	22	3	69
	2人				5	4		9
	3人		1			1		2
いない		100	31	92	211	233	40	707
いないけれど心配である		7	2	2	11	23	2	47

(ご意見)

- ・ 88歳の老人がいる
- ・ 高齢者の為・高齢者が2人いる。日中は1人になる
- ・ 子供が二人。現在6歳未満のため、親が万が一の時心配
- ・ 持病のある大人の常備薬
- ・ 高齢で歩くのが遅い
- ・ 高齢の母と同居している
- ・ 私自身が高齢者なので
- ・ 小さな子供が2人いる
- ・ オムツの子がいる
- ・ 子供が1人の時が心配
- ・ 素早く動けない高齢者がいる

問4 大型台風や大地震の時、指定避難所に避難しますか？

また、避難する場合どこに避難しますか？

回答		1	2	3	4	5	グラン	合計
避難する		96	30	62	174	213	34	609
避難する場所	上尾高校	90	18	3	3	2	34	150
	大石中学校		11	37	138	32		218
	大石北小学校		2	11	25	150		188
	その他	3	2	1	1	24	1	32
避難しない		20	14	35	65	66	12	212
その他		4	2	3	15	18	1	43

(ご意見)

- ・大型台風では避難しない
- ・大地震は状況によって上尾高校に避難する
- ・避難したいが手助けが必要。車いす使用
- ・状況に応じて
- ・上尾高校はどこから入るのかわからない。どこに行けばいいのかわからない
- ・ケースバイケース
- ・家が安全な場合は家にいる
- ・状況を見て判断
- ・勤務状況や自宅の損壊状態による
- ・避難したいがペットがいるので迷惑かけないか心配
- ・状況を見て判断する
- ・大型台風の際は避難しない
- ・かえで公園が近いがトイレがない
- ・どこに避難所があるかわからない

問5 「避難しない」と回答した方、広域避難・分散避難などの避難先はどこですか？

回答	1	2	3	4	5	グラン	合計
準公共施設	2	1	4	1	3		11
親戚・知人宅	3		5	6	6	2	22
ホテル・旅館			2	1	3		6
駐車場・公園での車中泊		3	3	6	8		20
在宅避難	17	13	29	54	59	8	180
その他	4	1	2	5	3	2	17

(ご意見)

- ・ペットがいるため
- ・別に家がある
- ・情報を聞いてからでは遅いと思う
- ・被害を受けにくい建物を新築したので自宅避難が良いと思う
- ・安心の為
- ・自己判断する
- ・障害者の為自宅が福祉避難所
- ・避難場所が「密」になる事を考えると避難しない方がいいという結論
- ・防災放送がよく聞こえない
- ・周囲の状況で判断
- ・テント
- ・朝日小学校に避難できれば
- ・自宅にいられば一番いい
- ・ライフラインが動いているときは自宅避難でよい
- ・ペットがいるから在宅か？

問6 「避難」についてどのような情報で避難を開始しますか？

回 答	1	2	3	4	5	グラン	合計
「高齢者等避難情報」が防災行政無線で流れてから	54	21	36	104	125	12	352
テレビ・ラジオ・SNS等の情報を聞いてから	35	14	45	111	117	20	342
自治会・自主防災会からの指示	29	12	19	53	76	12	201
上尾市公式ソーシャルメディアを見てから	14	3	14	36	39	8	114
その他	2		5	8	12	1	28

(ご意見)

- ・ 防災行政無線が聞こえない (5件)
- ・ その時の状況による
- ・ 避難しない
- ・ 避難しないと答えたので、この質問はおかしい。真剣に作成して
- ・ 自分で判断して (3件)
- ・ その時の状況や近所の人達の状況
- ・ アプリの防災情報
- ・ 役所からの避難勧告メールがほしい

問7 避難先までの移動手段は？

回 答	1	2	3	4	5	グラン	合計
徒歩	114	37	96	228	271	43	789
自転車	7	6	10	16	23		62
車	7	5	10	17	38	3	80
その他	2	2	2	3	6		15

(ご意見)

- ・ 状況に応じて車イスがいるため
- ・ その時の判断 (2件)
- ・ 車いす (2件)
- ・ 被災状況による
- ・ 下肢が不自由なので移動が難しい (在宅避難か)

問8 避難経路は決めていますか？

回 答	1	2	3	4	5	グラン	合計
決めている	60	17	40	137	137	21	412
決めていない	55	25	68	111	157	22	438

問9 避難準備はできていますか？

回 答	1	2	3	4	5	グラン	合計
できている	28	14	36	69	87	20	254
できていない	87	24	62	161	177	23	534
これから準備する	21	13	18	63	69	3	187
準備はしない			1		3	1	5

問10 感染症拡大防止のための備品等は備えていますか？

回答	1	2	3	4	5	グラン	合計
備えている	109	41	93	236	266	38	783
備えていない	5	1	6	20	16	4	52
これから準備する	6	1	3	14	17	4	45
備えようとは思わない		1					1

問11 ペットと一緒に避難しますか？

回答	1	2	3	4	5	グラン	合計
連れて行く	15	4	9	46	42	7	123
連れて行かない	5	3	3	8	11	1	31
決めていない	7	4	5	20	10	1	47
その他		2	3	3	3		11

(ご意見)

- ・できれば連れて行きたいが、他の人や猫のストレスも考えてしまう。
- ・連れて行きたいが、キライな人もいると思うから
- ・家族なので一緒にいられるようにしてほしい

★よろしければお答えください。ペットは何ですか？数もお答えください。

回答	1	2	3	4	5	グラン	合計
犬1匹	12		7	35	26	3	83
犬2匹	1	3	1	4	4	1	14
猫1匹	5	5		13	11	2	36
猫2匹	3	1	1	5	10	2	22
猫3匹		1	1	4			6
猫4匹	1		2		1		4
小鳥1羽			1	1	2		4
小鳥2羽	1						1
ハムスター	1		2	1	1		5
うさぎ1匹				2	2		4
カメ2匹				1	1		2

問12 自主防災会の活性化や地区防災力の向上に必要なと思うのはどんなことですか？
また、今後どのような企画を望みますか？（複数回答可）

回 答	1	2	3	4	5	グラン	合計
地域のコミュニティ強化	44	22	35	115	105	13	334
地域の防災リーダーの育成	36	11	29	69	69	12	226
女性役員の増員	8	1	11	15	23		58
ボランティアやNPOなど 外部の力の活用	14	8	12	46	49	6	135
的確な災害情報の把握及び伝達	83	31	71	179	202	33	599
防災教育の充実	18	4	17	52	51	6	148
上尾市・企業・学校・近隣 地区などの多様な連携	35	17	35	88	93	17	285
お祭り行事の中での防災グッズ の展示やミニ講演会など	8	5	5	15	19	1	53
中妻の地図をもとに講座や避 難行動訓練（町歩き散策）	17	6	28	41	45	6	143
新たな企画（例：防災運動会、 子供と学ぶ防災教室、救出搬 送訓練など）	3		7	14	16	1	41
ご近所の人と防災について話し 合える場を作る（定期的な防災 食カフェなど）	12	3	16	26	26	4	87
その他	3	1	3	2	6	2	17

（ご意見）

- ・ 指定避難所までのルートの方策定・要介護者がいた場合どう対処したらよいのか？
連絡先はどこなのか？教えてほしい
- ・ 防災放送が聞こえない ・ 防災専門家による現地視察後のアドバイスと周知
- ・ 体験者の話を聞く ・ 記念会館を避難所として開設する
- ・ 中妻にSNSを作り情報の共有化を図る ・ 防災グッズの販売会
- ・ 昼間一人でいる障害者への伝達、手助けを必要とする方の確認
- ・ 自主災害活動する時の用具の種類と保管場所の明確化及び持ち出しルールの
明確化
- ・ 防災マップ（中妻専用の一枚もの）を配布 ・ 避難訓練の実行
- ・ 中妻としてどのような備蓄品があり、イザという時どれくらい配布されるのか
知りたい
- ・ 中妻地区に特化したWEBサイトの立ち上げ
- ・ 非常時に持ち出す物、家に置いておく物を説明してほしい
- ・ 避難場所等の防災に関する情報提供をもっと広く強制的に共有してほしい

【自由意見欄】

1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料水の確保を特にお願いしたい ・どんな物をどれだけ用意するのか？ リストがあったら参考になる ・防災無線が聞こえにくい。市でライン配信など各家庭に確実に情報が行くインフラの整備を ・家族だけでは避難所に連れて行けない。行っても避難生活に介護が人は増えている
2丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・中妻地域の備蓄状況について ・防災放送が聞こえない ・ちょっと問を少なくして ・災害時要配慮者が避難場所に滞在となったとき、ベッドが必要となります。可能ですか？
3丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の力の活用では限界があるので、専門業者と契約する ・指定避難所、広域避難所を理解している人が何人いるか知りたい ・普段から〇〇丁目の避難所は〇〇と全戸に知らせてほしい。 ・空き家の数の把握。普段から見守りが必要 ・防災無線が聞こえにくい。 ・普段から老若男女が集う機会を増やしていくことが、特別な事態の時に円滑な活動を可能とする。お祭りは一案 ・ペットゲージ等の備蓄があると安心 ・各家庭の人員構成やハンディキャップ等の情報を収集しデータベース化する。
4丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・「街歩き散歩」はとても大事だと思う。地域の方の顔も知れるいい機会 ・町内会に入らず情報に乏しい方々に対し、防災会としてどのような働きかけをするのか？ ・自治会に入っていない人はどうするの？ 前もって対処の仕方を決めておく方がよい ・指定避難所は全員避難しても受け入れられるキャパシティがありますか？ ・全員避難したら対応できるのか？ 利用見込みが少ない避難所は統合するのか？ いろいろシュミレーションして情報を開示してほしい ・個々の意識を調査してアクションするのは発想が逆ではないか？ これでは個々の判断に任せて非常時は右往左往する懸念が生じる ・防災行政無線が全くと言っていい程聞き取れない。改善を望む ・防災無線の放送内容をリアルタイムでスマホで確認できるといい ・高齢化しているので、老人たちへの配慮等に気にかけてほしい ・各避難所の最大の受け入れ人数を事前に知っておきたい ・防災グッズの配布（意義づけとして） ・役員だけが地区防災を担うのは限界がある。普段から、コミュニケーションを図りイザという時には協力してもらう段取りを付けておくこと

4丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所に毛布、敷物、食物、テント等々何人分そろっているのか情報公開 ・このアンケートがどのように活用されるのか回覧板で明示して ・防災費の活用内容の報告。備品の数、場所、種類の報告 ・防災食の頒布会または地域店の紹介、注文のあっせん（現在ホームセンターで定期的に入れ替えている） ・防災活動は市との連携をしないと難しい（危険等）と思う。アンケートを含めて、市との関係を周知していただきたい
5丁目	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日小が近くて安全なのでできる事なら避難させていただきたい。避難できるように働きかけてください ・防災行政無線が聞こえない ・5丁目の住民の避難所はどこでしょう？イマイチわかりません。回覧板に貼り付けていただけると嬉しい ・今の状況での訓練は問題がありますが、一度でも経験しておくことは重要です ・普段、防災意識が乏しい事が再認識しました ・適切な避難行動の指針を示してほしい ・防災行政無線の音が割れて聞き取れない調整してほしい。各家庭に受信機があるといい。声は男性より女性がいい ・防災ラジオの配布 ・学校から連絡メールがある。防災も災害時メールがあるといい ・区費で防災グッズを各家庭に配布すべき ・自主防災会を知らませんでした。活動状況を知る方法ありますか？ ・避難所の案内看板を設置する ・私を含め近所には高齢者が増えています。避難する時補助が必要となる人が多くなると思う。そういう方を補助する方の育成をお願いしたい ・空き家、物置利用の土地、道路への物置など、火災や災害発生時には通行の支障となるので、指導を強く希望します
グランシェロ	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなレベルで避難が必要なのか、判断基準となるものが知りたい。 ・備蓄している防災食品等は消費期限が迫っているものは平等に分配した方がいい ・医療従事者なので、災害時に家族に付き添えない可能性が高い。何かあったとき不安が多い ・防災に関する訓練は必要。ダラダラした訓練でも、行わないより100倍マシ ・個人情報の保護を優先すると身動きが取れなくなり、平時にルールを決めておく必要がある。